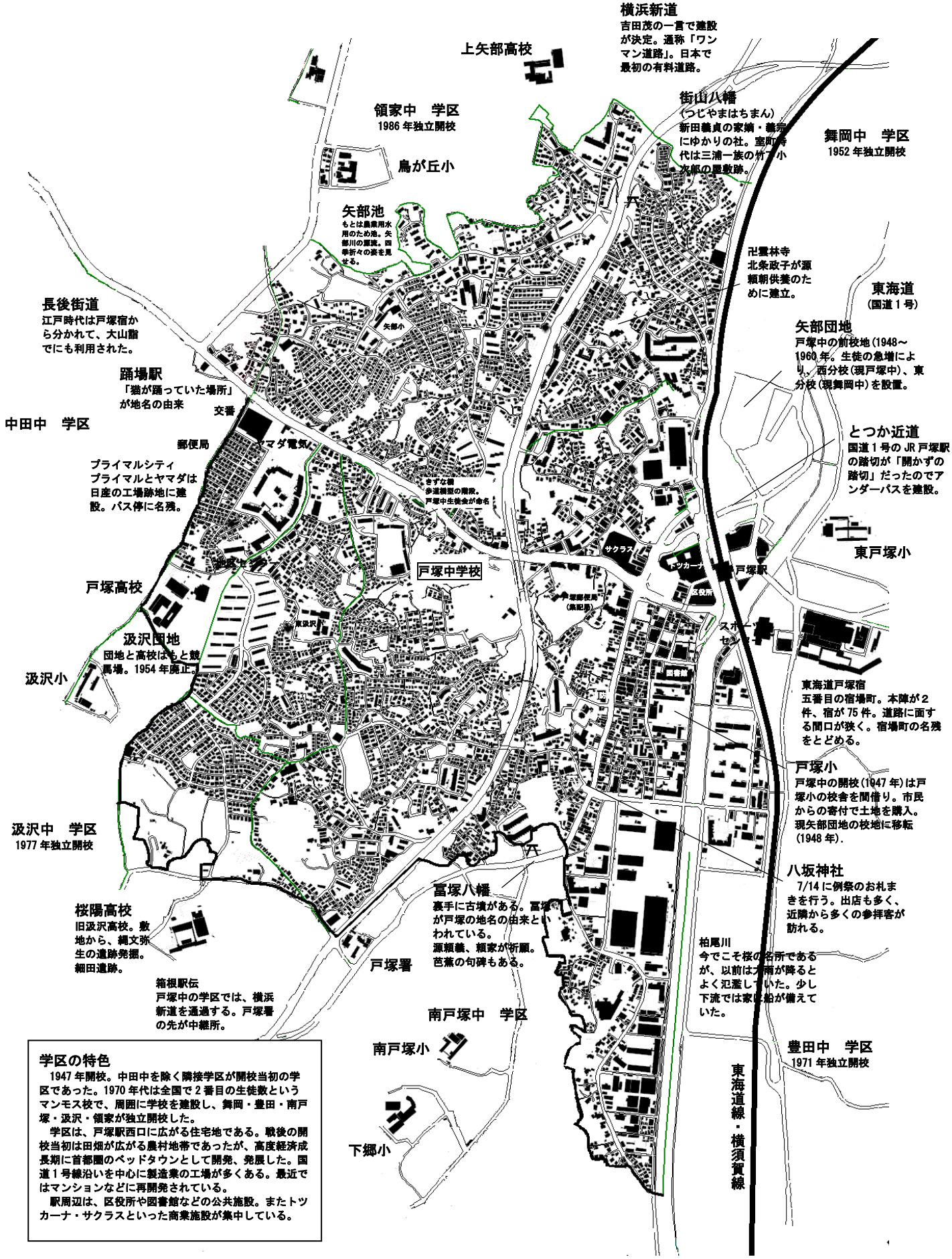
横浜市立戸塚中学校　学区の紹介



学区の特色

1947 年開校。中田中を除く隣接学区が開校当初の学区であった。1970 年代は全国で２番目の生徒数というマンモス校で、周囲に学校を建設し、舞岡・豊田・南戸塚・汲沢・領家が独立開校した。

学区は、戸塚駅西口に広がる住宅地である。戦後の開校当初は田畑が広がる農村地帯であったが、高度経済成長期に首都圏のベッドタウンとして開発、発展した。国道１号線沿いを中心に製造業の工場が多くある。最近ではマンションなどに再開発されている。

駅周辺は、区役所や図書館などの公共施設。またトツカーナ・サクラスといった商業施設が集中している。